

2022 年度 全学向け日本語コース/NUPACE 日本語コースシラバス

科目名	学期	曜日・時限	担当者
東アジア近現代史I	春学期	水曜日・4限	木下 奈津紀

【授業目標】

現在、日本と韓国との間には、歴史認識問題や領土問題などがあり、政治的な関係は決して良好とはいえない。現在の東アジアの国際政治は、過去の歴史が大きく影響しており、これをふまえなければ十分に理解することは困難である。そこで、本講義では日韓関係を中心に中国・北朝鮮など東アジア諸国の変容も踏まえながら、近現代の歴史を通史的に解説する。

【授業計画】

	授業日	学習内容	その他
1	10/5	オリエンテーション 日韓関係の現状	
2	10/12	1945年までの日韓関係① 日本の植民地支配	
3	10/19	1945年までの日韓関係の② 日本の植民地支配の帰結	
4	10/26	冷戦下における日韓関係① 朴正熙政権の成立	
5	11/2	冷戦下における日韓関係② 日韓国交正常化交渉	
6	11/9	冷戦下における日韓関係③ 1965年体制	
7	11/16	冷戦の変容と日韓関係① 北朝鮮をめぐる日韓関係	
8	11/30	冷戦の変容と日韓関係② 「ポスト朴正熙」の日韓関係	
9	12/7	冷戦終結以降の日韓関係① 日韓関係の構造の変容	
10	12/14	冷戦終結以降の日韓関係② 日韓歴史問題の浮上	
11	12/21	冷戦終結以降の日韓関係③ 北朝鮮の核ミサイル問題	※期末レポートについて
12	1/11	2010年以降の日韓関係① 歴史問題について	
13	1/18	2010年以降の日韓関係① 北朝鮮政策について	
14	1/25	2010年以降の日韓関係② 米中大国関係の変容と日韓関係	
15	2/1	総括	

【評価方法】

授業参画(授業態度・リアクションペーパー)50%  
 期末レポート 50%

【テキスト】

木宮正史『日韓関係史』岩波書店、2021年7月。 ※各自教科書を必ず購入してください。  
 その他、適宜補助資料を配布します。

【注意事項】

本講義に合格 (pass) するためには、70% (11回) 以上の出席が必要です。

2022 年度 全学向け日本語コース/NUPACE 日本語コースシラバス

科目名	学期	曜日・時限	担当者
日本語コミュニケーション論 I	秋学期	木曜日・4限	許 明子

【授業目標】

この授業は、日本語の言語表現の特徴とコミュニケーション・スタイルを理解することを目的とする。特に、日本語の文法的な特徴とコミュニケーション・スタイルとの関係について学ぶ。これらの学習を通して、日本語の対人関係の捉え方、言語表現の特徴について理解を深めることを目的とする。日本語と英語、または受講者の母語との比較を行い、学習者自身のコミュニケーション・スタイルについて自己分析を行うとともに、円滑なコミュニケーション活動に必要な言語的、非言語的な要素について考える。

毎回の授業では、日本語の表現的な特徴と対人関係、コミュニケーション・スタイルに関連する講義を受けて、その後グループ活動によるワークショップを行う。ワークショップの結果についてグループ発表を行う。

【授業計画】

	授業日	学習内容	その他
1	10月6日	1. オリエンテーション、良いコミュニケーションとは？	
2	10月13日	<b>2. 初対面会話・異文化コミュニケーション</b> (1) 初対面会話と話題	
3	10月20日	(2) 自己紹介と自己開示	
4	10月27日	(3) 異文化間の自己開示とコミュニケーション	
5	11月10日	<b>3. 多文化社会におけるコミュニケーション</b> (1) 異文化・多文化とアイデンティティ	
6	11月17日	(2) 対人関係と距離	
7	11月24日	(3) 対人関係の構築と発達モデル	
8	12月1日	<b>4. 非言語コミュニケーションの要素</b> (1) あいづち	
9	12月8日	(2) フィラー、視線、つかえ	
10	12月15日	(3) 場づくり、共話	
11	12月22日	<b>5. 言語行動の対照・グループ発表</b> (1) 依頼の場面・グループ発表①	
12	1月12日	(2) 誘い・断りの場面・グループ発表②	
13	1月19日	<b>6. 人間関係とコミュニケーション・ワークショップ</b> (1) グループの意見交換	
14	1月26日	(2) 自分の話し方の気づき	
15	2月2日	(3) グループ発表	

【評価方法】

※評価要件:70%以上の出席(11回以上)が必要です。

授業、ワークショップ参加度	20%
プレゼンテーション	30%
期末エッセイ	50%

【テキスト】

指定のテキストはありません。授業で必要に応じて資料を配布します。

【参考文献】

徳井厚子・柳本智子(2006)『対人関係構築のためのコミュニケーション入門』ひつじ書房

水谷信子(1985)『日英比較話しことばの文法』くろしお出版  
水谷信子(2015)『感じのよい英語 感じのよい日本語―日英比較コミュニケーション文法』くろしお出版  
矢代京子・荒木晶子・樋口容視子・山本志都・コミサロフ喜美(2001)『異文化コミュニケーションワークブック』三修社

**【注意事項】**

授業では毎回、日本語でグループワークを行うため、中級レベル以上の日本語力を持っていることが条件です。  
履修を希望する学生は必ず学期末まで出席してください。履修登録をした場合、5回目の授業（11月10日）以降は履修キャンセルを認めません。

2022 年度春学期 日本語・日本文化研修プログラム日本語科目シラバス

科目名	学期	曜日・時限	担当者
日本文学I	春学期	木曜 5 限	香川 由紀子 (かがわ ゆきこ)

【授業目標】

近代の日本文学の講読を通して、日本語表現や時代背景、日本社会を知る。  
異文化との比較やジェンダーの視点で読み、ディスカッションを行い、意見を文章にまとめる。  
近代短歌を味わい、解釈を発表する。

【授業計画】

	授業日	学習内容	その他
1	10/6	オリエンテーション、日本文学史	
2	10/13	日本の再発見：小泉八雲（1）	
3	10/20	日本の再発見：小泉八雲（2）	
4	10/27	西欧文化の受容：夏目漱石（1）	
5	11/10	西欧文化の受容：夏目漱石（2）	11月3日は授業がありません。
6	11/17	西欧文化の受容：夏目漱石（3）	
7	11/24	ディスカッション	
8	12/1	近代の女性表現：与謝野晶子（1）	
9	12/8	近代の女性表現：与謝野晶子（2）	
10	12/15	近代の女性表現：与謝野晶子（2）	
11	12/22	世界の中の日本文学：三島由紀夫（1）	
12	1/12	世界の中の日本文学：三島由紀夫（2）	
13	1/19	世界の中の日本文学：三島由紀夫（3）	
14	1/26	課題発表	
15	2/2	ディスカッション、まとめ	

【評価方法】

課題80%、ディスカッションへの参加20%

【テキスト】

授業で指示します。

【注意事項】

合格するためには、70%（11回）以上の出席しゅつせきが必要です。  
指定された作品は前もって読んでおいてください。  
状況によって学習内容を変更することがあります。

